

おおたわらを良くするしくみ応援成事業 ～申請の手引き～



はじめに

- この応援助成事業は、大田原市でご協力いただいた赤い羽根共同募金の配分金を使用しています。



助成対象事業

- 住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくり及び新たな地域の福祉課題の解決に取り組む事業。
- 令和7年4月1日～令和8年3月31日までに実施し、完了する事業。ただし、次の事業は助成対象としない。
 - (1) 他の補助金との重複や公的助成金のある事業
 - (2) 政治活動、宗教活動、営利活動を目的とした事業
 - (3) 会員、構成員同士の親睦を目的とした事業
 - (4) 福祉を目的としない事業

助成対象団体

- 大田原市内で地域福祉を目的に活動する団体であること
- 5名以上で組織し、1年以上活動を継続している団体であること

助成対象経費①

○消耗品費

活動で使用する文具や製作に使用する材料など



○印刷製本費

活動を周知するためのチラシや総会資料などの印刷費



○通信運搬費

活動に必要な文書の郵送費など



助成対象経費②

○使用料及び賃借料

活動で使用する会場などの料金



○損害保険料

ボランティア保険などの保険料



○食糧費

活動に必要な食材、飲み物代など

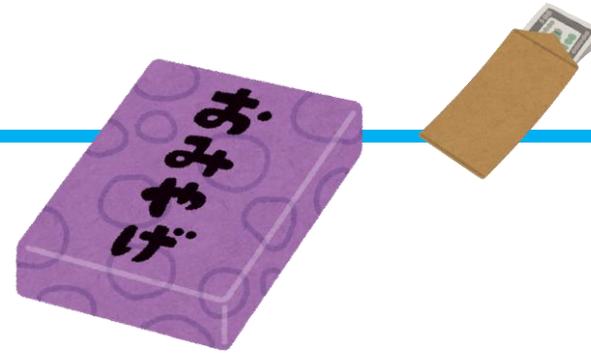
1食につき500円以内



助成対象経費③

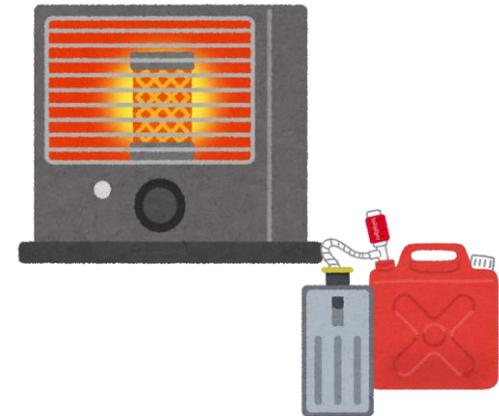
○諸謝金

講師を依頼した際、視察に行った際の謝金など



○燃料費

活動に必要な冷暖房費など
(活動に向かうための個人の車輛燃料費などは対象外)



※すべての支出に支払ったことが確認できるレシートや領収書が必要です。

助成対象経費④

○助成の対象とならないもの

組織運営にかかる人件費、交通費、慶弔費及び領収書により支払ったことが明確に確認できない経費等は対象となりません。



申請に必要なもの

- 申請書（様式1）
- 予算書（様式2）
- 団体の会則
- 総会資料…前年度の決算、今年度の予算及び事業計画など

ホームページからダウンロード
もしくは社会福祉協議会本所・支所で配布



申請書の書き方(様式1)

1 団体基本情報

- 団体名……………団体の名前
- 代表者名……………団体の代表者のお名前
- 代表者役職名…申請団体での役職(会長、代表など)
- 団体住所……………団体の事務所があればその住所
もしくは代表者の住所

事務局記入【受付№】			
様式1 「おおたわらを良くするしくみ応援助成事業」申請書			
申請日 令和 年 月 日			
1. 団体基本情報			
団体名			
代表者名		代表者の申請 団体での役職名	
団体住所			
電話番号		携帯番号	
FAX番号		e-mail	
主な活動内容			
2. 活動予定事業内容			
事業名			
活用希望額	円	実施期間 または実施日	
事業内容	(※ いつ何をするのか等をなるべく詳細に記載)		
事業対象者			
期待される効果			

※記入漏れがないかご確認の上、様式2と一緒に提出ください。

申請書の書き方(様式1)

1 団体基本情報

• 電話番号……代表者の電話番号

• 携帯番号……代表者の携帯番号

※申請担当者が代表者でない場合は担当者の名前と携帯番号

• F A X 番号 e-mail

申請担当者がお持ちであれば記入してください



事務局記入【受付№】			
様式1 「おおたわらを良くするしくみ応援成事業」申請書			
申請日 令和 年 月 日			
1. 団体基本情報			
団体名			
代表者名	代表者の申請 団体での役職名		
団体住所			
電話番号	携帯番号		
F A X 番号	e-mail		
主な活動内容			
2. 活動予定事業内容			
事業名			
活用希望額	円	実施期間 または実施日	
事業内容	(※ いつ何をするのか等をなるべく詳細に記載)		
事業対象者			
期待される効果			

※記入漏れがないかご確認の上、様式2と一緒に提出ください。

申請書の書き方(様式1)

1 団体基本情報

・ **主な活動内容**…どのような活動をしているか具体的に

- ・ 高齢者の居場所づくり
- ・ 地域の外出支援
- ・ 小学校でのボランティア活動 など



事務局記入【受付№】			
様式1 「おおたわらを良くするしくみ応援助成事業」申請書			
申請日 令和 年 月 日			
1. 団体基本情報			
団体名			
代表者名	代表者の申請 団体での役職名		
団体住所			
電話番号	携帯番号		
FAX番号	e-mail		
主な活動内容			
2. 活動予定事業内容			
事業名			
活用希望額	円	実施期間 または実施日	
事業内容	(※ いつ何をするのか等をなるべく詳細に記載)		
事業対象者			
期待される効果			

※記入漏れがないかご確認の上、様式2と一緒にご提出ください。

申請書の書き方(様式1)

2 活動予定内容

- ・ **事業名**…応援助成を受けたい事業の名前
例：〇〇外出支援事業 など
- ・ **活用希望額**…応援を希望する金額
上限5万円以内で活用希望額
- ・ **実施期間または実施日**
 - ・ 年間を通じて行う事業⇒令和7年4月1日～令和8年3月31日
 - ・ 単発で行う事業⇒実施予定日

事務局記入【受付No.】			
様式1 「おおたわらを良くするしくみ応援助成事業」申請書			
申請日 令和 年 月 日			
1. 団体基本情報			
団体名			
代表者名	代表者の申請 団体での役職名		
団体住所			
電話番号	携帯番号		
FAX番号	e-mail		
主な活動内容			
2. 活動予定事業内容			
事業名			
活用希望額	円	実施期間 または実施日	
事業内容	(※ いつ何をするのか等をなるべく詳細に記載)		
事業対象者			
期待される効果			

※記入漏れがないかご確認の上、様式2と一緒に提出ください。

申請書の書き方(様式1)

2 活動予定内容

- ・ **事業内容**… 応援助成を受けたい事業の内容

何のためにどんなことをするのかを具体的に。
毎週火曜日に世代間交流のためにサロンを実施 など

- ・ **事業対象者**… 事業が対象としている人は誰か

地域住民（子どもから大人まで） など

- ・ **期待される効果**

- ・ 事業を実施することで、どのような効果が期待されるか
地域の交流の場を作ることで、世代を超えたつながりをつくる
ことができる など。できるだけ具体的に！詳しく！

事務局記入【受付№】			
様式1 「おおたわらを良くするしくみ応援助成事業」申請書			
申請日 令和 年 月 日			
1. 団体基本情報			
団体名			
代表者名	代表者の申請 団体での役職名		
団体住所			
電話番号	携帯番号		
FAX番号	e-mail		
主な活動内容			
2. 活動予定事業内容			
事業名			
活用希望額	円	実施期間 または実施日	
事業内容	（※ いつ何をするのか等をなるべく詳細に記載）		
事業対象者			
期待される効果			

※記入漏れがないかご確認の上、様式2と一緒にご提出ください。

申請書の書き方(様式2)

2 支出

- ・ 団体全体の支出について記載
 応援の対象でない経費も記載する
- ・ 応援助成事業の対象経費は募集要項を確認

消耗品費	文具、用紙、材料等
印刷製本費	チラシ、ポスター、資料作成費、印刷費
通信運搬費	切手、ハガキ、郵送料
使用料及び賃借料	会場使用料等
損害保険料	行事用保険料等
食糧費	食材費、飲み物代等（1食500円以内）
諸謝金	講師等への謝礼金
燃料費	暖房費等（車両燃料費は含めない）

※組織運営にかかる人件費、交通費、慶弔費及び領収書により支払ったことが明確に確認できない経費等は対象となりません。

※備品等、対象経費については申請前にご相談ください。

2 支出

科目	金額	備考
消耗品	30,000円	コピー用紙 文具
印刷製本費	30,000円	〇〇チラシ印刷費
損害保険料	20,000円	行事用保険
計	80,000円	

申請書の書き方(様式2)

注意点

- ・ 収入と支出の数字を合わせる
収入計と支出計は同額です。
- ・ 対象経費が活用希望額を超える予算を作る
- ・ 応援助成だけに頼らない自主財源を含めた予算を！

応援助成は最長3年受けることができます。助成が受けられないから終わりではなく、活動を長く続けるために応援助成を受けている間に自主財源を確保する方法についても検討してください。

1 収入

科目	金額	備考
応援助成	50,000円	市社協より
会費収入	30,000円	3,000円×10人
計	80,000円	

2 支出

科目	金額	備考
消耗品	30,000円	コピー用紙 文具
印刷製本費	30,000円	〇〇チラシ印刷費
損害保険料	20,000円	行事用保険
計	80,000円	

今後のスケジュール

10月2日～12月2日

・申請期間

1月下旬

・応援助成審査会

2月上旬

・審査結果通知

4月下旬

・助成金の振込

※応援助成審査会は、各団体によるプレゼンをしていただく予定です。



最後に

- 助成事業終了後、事業報告書・決算書を提出していただきます。
- 助成団体には来年度の赤い羽根共同募金期間中(10月1日～12月31日)に募金活動への協力をお願いします。
- 助成事業を実施中には、本会から貸与する赤い羽根共同募金活用中の旗を掲示してください。
- 事業を実施する中で、赤い羽根共同募金から配分を受けていることを広報協力していただきます。

